

# SHIN CLUB 159

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



TN-house 撮影：中村 絵

## 今月のトーク/monthly talk

### 絵

写真は今月ご紹介する「TN-house」の1階リビングです。中庭に向かって大きく斜めに窓が開かれ、コンクリート打ち放しの仕上げの室内に、建て主のN様の描かれた絵やアートが配置されています。生活感を極力出さない、アトリエのような空間は、無駄なものがほとんどありません。椅子やテーブルなどインテリアの一つ一つが、N様の洗練された感覚に応じているものばかりと感じられます。(※写真のカウンターの椅子は、現在注文品が届くのを待っているものです。)

例えば、リビングの開口部を演出するカーテンは、普通の住宅ではきつと負けてしまうような大胆な柄。しかしそれらは、実に良く空間とマッチしています。ベッドルームのチェストや、水周りの床のタイルの色づかい、ファブリックなど、細かいところにもN様の個性的な感覚が見られます。

白と黒の水墨画のようなタッチで樹木や自然の景色を力強く描かれたN様の作品を見て、設計の安藤毅氏は、ミニマムで強さがある空間、しかも作品の良さを損なわないような空間を用意することが必要だと感じました。そうすることで、作品とともに新たな建築の方向性が生み出されると思ったそうです。

絵は、人柄を物語ります。

安藤氏の「打ち合わせはとてもスムーズに進みました」という言葉に、建て主N様への理解と尊敬の念を感じました。

建築の勉強をされた方は、たいていは絵が上手なんでしょうが、「絵心がなくて・・・」と謙遜しつつ、本当に描けなくなってしまった普通の大人達はいったいどうしたものでしょう。子供の頃は、誰もが自由に絵を描いて、親に褒められ、饒舌に自分を語っていたらうに、小学校に入り、図工の時間で他人

と比較されたり、中学校に入って、主要科目と関係ないと点数を意識したりすると、もういけません。途端に楽しくなくなり、絵を描く行為は苦痛になってしまいます。

しかし、絵で話ができるようにすることは、決して無駄ではありません。自分の頭の中を伝えるルールと思って、簡単な絵から描いていくことで、表現力は高まり、何か問題を整理するときにも、図解すれば、解決の糸口はさらにわかりやすく伝えられます。

絵心が育ってくると、何かをデザインする表現力もさらに増すでしょうし、そのデザインは、単に紙の上だけでなく、自分の生活全般について反映されることでしょう。自分なりの絵が描けるようになったら、悩みも減って、他人からも尊重されるような気がします。

テレビのクイズ番組で、よく回答者が絵を描かなくてはならないときがあったりしますが、情けないくらいの描写力で、犬か猫かわからないような動物の絵を描いたりしている人を見ると、同情してしまいます。

逆に、単なるお笑い芸人だと思っていた人が、感動的なアニメーションを描いて、海外でも有名になり、朝のNHKドラマにもその絵が登場するようになると、絵が描けることで広がった人生の可能性を感じずにはいられません。

先日、久しぶりに高校の同級生と会う機会があり、話をしているうちに質問をした私に、彼女はさらさらと絵を描いて説明をしてくれました。「ああ、そういえばこの人は漫画が得意だった。成績が優秀なだけでなかった」と、彼女の才能をまた一つ発見したのでした。

# TN-house



## シークエンスのある家

敷地は、北側が第1種低層住居専用地域、南側が第1種中高層住居専用地域、と同じ建物内で用途が異なっているが、低い家並みが広がる北側にテラスや開口部、トップライトを設けることで、建物全体には閉じた外観を維持しつつ、その条件を有効に活用している。躯体は、貫板型枠のコンクリート打ち放しで仕上げている。特に仮設の材料でサネのない杉板をそのまま利用することで、板と板の隙間のノロや陰影が、コンクリートの量感、素材感をさらに引き出している。

この住宅は絵画を趣味とされる母上と娘さん夫婦の2世帯住宅である。1階が母上のスペース、2、3階が娘さん夫婦のスペースである。

当初、母上は「大型の絵をしまう場所を」というご要望をお持ちだったが、作品には力があり、むしろそれらを生かすギャラリーを設けることで、さらに建築の中にシーンが生まれてくると思われた。

玄関を入ると、少し低くなった床の右側の壁に、母上の作品が飾られたギャラリースペースが続く。吹き抜けの天井からさすトップライトの光が、自然の明るさで作品を演出する。左手に入ると、母上の住まいのスペースである。対角線に切り取った三角形のプランニングは、庭のデッキのラインと室内のテーブルのラインをそろえることで一体感が生まれ、広がり明るさを生み出している。奥にコンパクトに収められたキッチンのカウンターはコンクリートで、埋め込み型の蛍光管の照明など、生活感を出来るだけ表に出さないようにしている。絵画同様、インテリアはとても個性的なものが多く、それに対して建築はシンプルで力強く、創作的な意欲が湧くようなラフなものとし、それらを生かしたスペースとなるよう心がけた。

2、3階への階段室は、単なるバックヤードとするのではなく、スペースを大きく取り、トップライト、2方向のハイサイドライトから光を入れている。1日の光の変化を楽しめ



る空間となっている。リビングへの入口は、空調などの温熱関係も考慮に入れ、重めの扉で新たな空間へと切り替える。リビングは三角形の対角線に大きな開口部をつくり、採光を確保するとともに、右手奥のキッチン、さらに階段室への通路で、室内に回遊性を持たせている。キッチンはドイツの高級メーカーのものであるが、設備の色を合わせながら、素材を変えた家具を製作するなど、こまかくデザインを工夫している。

3階の寝室は、やはり斜め使いのプランである。黒い照明、袋状の白いブラインドなど、やはりこちらもアーティスティックな空間となっている。

(安藤 毅氏 談)



①全景。閉じた外壁にあげられた数少ない窓は、大きさや仕様に変化をもたせている②2階リビングダイニング。右手階段室とは鉄製扉で仕切られている。左手開口部にはコンクリートのカウンターを設け、ベンチにもシェルフとしても利用できる③2階階段室。鋼製の1枚仕上げの手すり吹き抜けの空間にオブジェのような存在感を示す④1階中庭からの夜景⑤1階ギャラリースペース。トップライトからの明るさが絵画を引き立たせる⑥1階キッチン。コンクリートのカウンター、個性的なカーテンがアーティスティックな空間を演出⑦1階バスルーム⑧2階バスルーム。丸い小さなタイルが、白一色の内部を表情豊かに彩る

所在地：杉並区  
構造：RC造  
規模：地上3階  
用途：専用住宅  
設計：安藤毅  
／エアスケープ建築設計事務所  
構造設計：T&A アソシエイツ  
竣工：2013年2月  
施工担当：松沢  
撮影：中村絵

# CREST 改修工事

外壁塗装工事でコンクリートが美しく再生

before



① 全景。少しくろずんでいた壁



② クラックの入っていた2階庇



③ 庇も黒ずみ、汚れていた



④ ウッドデッキや植栽があった屋上は撤去し防水をやりなおした

after



いよいよ、梅雨の季節がやってまいりました。ご自宅のお手入れはお済みでしょうか。このたび、弊社では築13年のコンクリート打ち放し住宅の外壁再生工事を行ないました。

場所：国立市（国立駅から徒歩20分）

構造：RC造

用途：共同住宅

規模：地上3階（1-3階 賃貸住宅 3階オーナー宅）

改修案：TPO（タカギプランニングオフィス）

竣工：2000年（築13年）



屋根は防水工事、外壁は補修、化粧を行い、屋上はウッドデッキと花壇を撤去して防水のやり直しを行ないました。

また、建物全体の鉄部や、軒天井、縦樋の再塗装、サッシ周りのシールの打ち換えなど、細かい箇所も行ないました。これでまたしばらくは美しい外観を取り戻し、安心な建物となりました。具体的な工事内容は下記のとおりです。ご参考までに。

① 外壁：超耐候性シリコンクリアークアアパール

② ルーフバルコニー：ウレタン防水 DST-300

③ バルコニー・庇：ウレタン防水 DSM-200

④ 屋上：塩ビ系シート防水 ニューベストブルー NBP-54

## TOPICS/INFORMATION

### 「小鹿野子ども歌舞伎 麻布十番特別公演の舞台設置協力」 5月5日



① 三番叟（さんばそう）は幕開きの祝儀の舞②舞台の裏側。出番を待つ役者さんはたくさんカメラマンの被写体に③木々に囲まれた舞台に心地よい風が吹き、観客も引き込まれます④口上（こうじょう）。歌舞伎上演の前に古式ゆかしく二人の役者をご挨拶⑤菅原伝授手習鑑吉田社頭車引之場（すがわらでんじゅてならいかのみよしだしゃとうくるまひきのば）菅原道真に可愛がられた百姓白太夫の三つ子の息子たちの物語。華やかな舞台です。

5月5日のこどもの日、麻布十番商店街の中心広場「パティオ十番」に、埼玉県小鹿野町から「子ども歌舞伎」がやってきました。小鹿野歌舞伎は二百数十年の伝統を誇る、埼玉県の指定無形民俗文化財でもあります。平成4年に初めて麻布十番で公演して以来、今回で9回目。弊社では、日頃お世話になっている麻布十番商店街振興組合様に協力、この舞台を造らせていただきました。当日は、地元の方々、子供連れの親子だけでなく、麻布という地域柄、通りかかった外国人たちも大喜びで、舞台の子供たちの演技を楽しんでいました。（撮影：編集部）



「表参道けやきビル」現場レポートその3 工事中内覧会 5月18日

5月18日「表参道けやきビル」、第2回工事中内覧会を実施させていただきました。

前回に引き続き、たくさんのお見学者がお見えになりました。地下2階、地上8階建てのテナントビルで、現在は6階の型枠建て込み中です。

前回もお伝えしましたが、建物はSRC造の独立柱の形がすべて異なるため、杉板化粧型枠の転用がきかず、スチロール+杉板の特殊型枠を3D図面で設計、製作して組み立てています。予め加工場で試作品を作り、現場に製作したコンクリート型枠を少しずつ運び込みます。

(報告：営業部 畠中広隆)



①鉄筋の加工場でモックアップ(試作品)を製作、実際にコンクリートを流して、そのカブリ、表情を確認する。



②図面を出したサッシの枠を、原寸大のスチロール枠を作って確認



④出来た型枠を加工場から搬入するのは、周辺の店舗の営業にじゃまにならない時間帯で



⑤型枠大工の職長は、特殊な形のRC造の施工経験が豊富。見学者の質問にも快く答えていた



完成予想図CG(夜景パース)



「表参道けやきビル」  
意匠設計：  
圓紀彦建築設計事務所  
構造設計：  
オーヴ・アラップ・アンド・  
パートナーズ・ジャパン・  
リミテッド  
構造：RC造  
規模：地下2階、地上8階  
完成予定：2013年9月

③柱型にはPコンがなく  
枠の外側でセパレータを  
つけて保持している



⑦2階型枠脱後後の柱の状況。斜めの傾きが全て異なる様子  
がわかる。下層階なので上に行くにつれて、少しずつ閉じて  
いくが、4階より上層階になると今度は逆に上方に向かって  
柱が開いて連なっていく



⑥観光に訪れた表参道で、この見学会に遭遇、興味津々の様子だったので特別参加してもらった、イギリスの建築設計事務所「mcac」のスタッフ、Ms.Schuhmann Heidi

「富ヶ谷2丁目プロジェクト新築工事」地鎮祭 5月18日(土)



木造アパートを解体しRC造の共同住宅に生まれ変わります。お施主様の夢を形にします。

構造：RC造  
規模：地下1階、地上3階  
用途：共同住宅  
設計・監理：木下道郎  
/ワークショップ  
完成予定：2014年1月

「不二写真館新築工事」地鎮祭 6月1日(土)



恵比寿南で創業62年の歴史ある写真館建替え工事です。2代目社長と奥様、そして後継者の息子様の夢がたくさん詰まっている建物です。

構造：S造  
規模：地上5階  
用途：店舗・事務所  
設計・監理：architecture  
WORKSHOP  
完成予定：2014年1月

編集後記

・ホームページをリニューアルしました。スマホやタブレット端末でも見られ、作品検索も簡単に行なえるようになりました。ぜひご覧ください。

(株)辰通信 Vol.159 発行日 2013年6月10日 編集人：松村典子 発行人：森村和男

東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450 E-mail:daihyo@esna.co.jp URL:http://www.esna.co.jp